

みんなの健康ラジオ

『知っておきたいRSウイルス
赤ちゃんを守る「母子免疫」』

(2026年9月17日放送)

横浜市産婦人科医会

横浜市立大学附属市民総合医療センター

総合周産期母子医療センター

小畑 聡一郎

RSウイルスとは？

- 乳幼児に多い呼吸器感染症の原因
- 2歳までにほぼすべてのこどもが一度は感染する。
- 多くは鼻水・咳などの風邪症状だが、一部では細気管支炎や肺炎を起こすことがある。
- 特に月齢の早い赤ちゃん、早産児や心臓、肺に基礎疾患があるお子さんではより慎重な対応が求められる。

RSウイルスの治療方法は？

- RSウイルスに対する特別な治療薬はない。
- 感染した場合には症状に応じた治療が必要。
- 重症化した場合には入院、酸素投与、呼吸管理が必要になることもある。



予防が大事

RSウイルスの感染対策は？

- 手洗いや咳エチケットなどの感染対策は大切
- 家庭内や保育施設、きょうだいから感染することもある。



うまれたばかりの
月齢が低い赤ちゃんを
感染から守るのは難しい

「母子免疫」という考え方

- 妊娠中のお母さんの抗体を胎盤通して赤ちゃんへ届ける仕組み
- インフルエンザ、百日咳でも用いられている感染予防法

